



国立大学法人

奈良女子大学

記念館一般公開

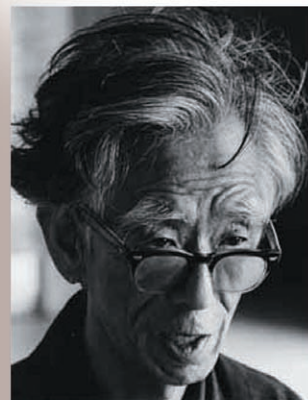
旧奈良女子高等師範学校本館《重要文化財》

平成29年10月30日(月)～11月5日(日)

午前9時～午後4時30分 (入館は午後4時まで)

特別展示

岡潔から
岡数学研究所まで
—本学所蔵の岡潔関連の資料展示—



特別講演

演 題：数学研究を通して
講演者：広中 平祐 (フィールズ賞受賞者、文化勲章受章者
ハーバード大学名誉教授、数理科学振興会理事長)
11/3(金・祝) 午後2時～午後3時



百年ピアノコンサート

演奏者：波戸岡 美紗 氏
10/31(火)、11/1(水)
各日 午前11時～午前11時30分
午後2時30分～午後3時



入場無料
予約不要です

交通

近鉄奈良駅①出口から徒歩約5分
JR奈良駅から市内循環バス
近鉄奈良駅前下車徒歩約5分
※車での来場はご遠慮願います。

連絡先

奈良女子大学 総務・企画課
〒630-8506 奈良市北魚屋東町
TEL.0742-20-3220
FAX.0742-20-3205



記念館ホームページ

<http://www.nara-wu.ac.jp/nwu/faculty/kinenkan/index.html>

奈良女子大学 記念館について



奈良女子大学の前身である奈良女子高等師範学校は1908(明治41)年3月に設置され、翌年5月から授業を開始しました。校舎の工事は1908(明治41)年2月からはじまり、翌年10月には主要な建物が完成しました。現在、奈良女子大学記念館としている建物は、奈良女子高等師範学校本館としてこのとき建設されたものです。

設計は京都帝国大学建築部長で奈良出張所心得の山本治兵衛が行いました。

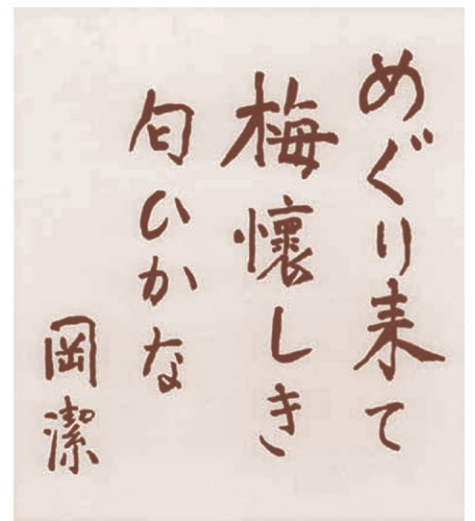
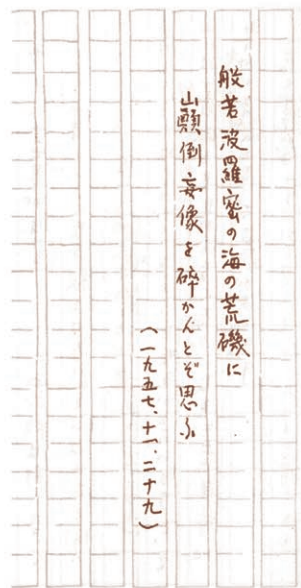
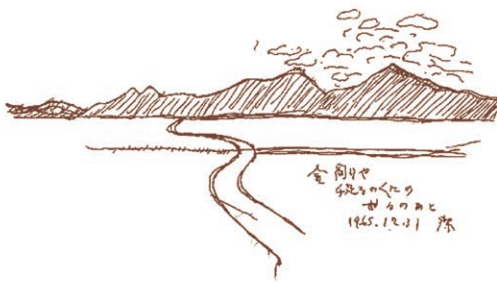
木造二階建てで、外観の大きな特徴は、北欧によく見られる木部を外に表す壁構造のハーフトィンバー形式をとっており、屋根には頂塔およびドーマー窓が設置されていることにあります。1階は中央に廊下が配され、これを挟む形で7室が設置されています。建物両端にある階段で2階に上ると、フロア全体が大きな講堂となっています。講堂内には柱は用いられず、中央部に二重に織り上げた天井には明かり取りの窓が配され、広々とした空間が広がります。

1994(平成6)年2月から6月にかけて改修工事が行われ、同年12月27日に正門および守衛室と併せて重要文化財に指定されました。その後も空調設備工事・外壁改修など、その時々適切な修理を行い、2014(平成26)年12月25日から2015(平成27)年12月にかけては、これまでにない長い時間をかけて大規模な耐震補強工事を実施しました。この工事に際しては、文化庁・奈良県の指導を受けて、歴史的建造物の文化的価値を損なうことのないよう、細心の注意を払い設計、施工がなされました。

旧本館は建設以来、改変された箇所はほとんどありません。現在も2階講堂内部には奈良女子高等師範学校開校当時から使用されていた長椅子がそのままに並び、開校時に購入した最も古い国産ピアノのひとつであるとされる「百年ピアノ」が置かれ、往事を偲ぶことができます。

特別展示

岡潔から岡数学研究所まで — 本学所蔵の岡潔関連の資料展示 —



岡潔(1901-1978)は20世紀を代表する数学者です。本学教授であった1960年に文化勲章を受章しました。業績の価値は、フィールズ賞(数学のノーベル賞)日本人受賞者(小平、広中、森)全員の論文に、岡が開発した数学概念を示す数学記号「O」(岡数学研究所のシンボル)が多用されていることからわかります。

岡潔の数学の精神を受け継ぐべく2015年に設置した岡数学研究所では、本学所蔵の岡潔関連の資料を展示する予定です。多くの方に岡潔を知って頂きたく思います。

奈良女子大学記念館 館長 藤原素子